社会貢献活動

鹿島グループは、「社業の発展を通じて社会に貢献する」と謳う経営理念に基づき、事業活動の遂行とともに、良き企業市民として社会や地域の課題解決に取り組み、社会の持続的発展に貢献します。
2021年4月に制定した「鹿島グループ社会貢献活動方針」のもと、「防災活動と災害復旧」「地域貢献」「環境保全」「次世代教育」、財団を通じた「学術・文化・芸術の振興」に取り組んでいます。

地域貢献　「まつだい棚田バンク」の活動に参加

鹿島は、農林水産省の「つなぐ棚田遺産」オフィシャルサポーターとして、社業と社会貢献活動を通じ、棚田地域における持続可能な営農環境整備と棚田の魅力発信に取り組んでいます。

2024年度は、担い手のいなくなった田んぼを借り受けて耕作する「まつだい棚田バンク」（新潟県十日町市）の企業オーナーとして、田植え、稲刈りイベントへの社員参加や、収穫米を使った社員食堂イベントを実施し、その活動を社内外に情報発信しました。この他にも、十日町市の棚田において、スマート農業の実証実験・導入支援をはじめ、生物多様性保全・洪水防止機能など棚田のもつ多面的機能の把握に関する研究も行っています。

まつだいの棚田

田植えの様子

次世代教育　ロボコンに建設業界で初めて協賛

鹿島はNHK学生ロボコン、ABUアジア・太平洋ロボコン、高専ロボコンに協賛し、若きエンジニアたちの挑戦を応援しています。

2024年度の大会は、「Harvest Day」をテーマに学生たちがロボットを制作し、技術力と創造力を競い合いました。当社は、NHK学生ロボコンで「新潟大学」に特別賞を贈呈したほか、各大会にブースを出展しスマート農業や建設ロボットの取組みを紹介しました。また、各地で行われた高専ロボコンの予選会には機電系社員が足を運び、学生たちと技術を通じ交流を深めました。

NHK学生ロボコンの様子

特別賞を授与した新潟大学の学生たち

財団を通じた学術・文化・芸術の振興

公益財団法人 鹿島学術振興財団
1976年設立。日本の学術の発展並びに学術の国際交流を図るため、自然科学及び人文社会科学の幅広い分野を対象とし、研究助成（一般・特定テーマ）、研究者交流援助（派遣・招へい）、国際共同研究援助、国際研究集会援助などの事業を行っています。
2024年度は、能登半島地震の調査・研究等も含め、合計160件、総額3億7,265万円の助成・援助を決定。毎年、採択者の贈呈式、研究成果の発表会を開催しています。

公益財団法人 鹿島美術財団
1982年設立。美術の振興を図り、日本の文化の向上と発展に寄与することを目的として、美術に関する調査研究助成、出版援助、国際交流援助、美術普及振興を行っています。
2024年度は、合計95件、総額1億796万円の助成事業を実施。毎年、調査研究助成者のうち優れた成果を上げた研究者に対し、鹿島美術財団 財団賞・優秀賞を授与し、受賞者による研究発表会を開催しています。昨年１１月には、ボストン美術館所蔵品調査への助成支援などが評価され「メセナアワード2024」優秀賞を受賞しました。

公益財団法人 鹿島育英会
1956年設立。経済的に恵まれていない国内の大学生、大学院生及び外国人留学生に対して奨学金の給付援助を行っています。2024年度は全186人に総額1億3,938万円の奨学金を支給しました。

一般財団法人 鹿島平和研究所
1966年設立。国際平和の推進と日本の安全確保などに寄与することを目的とし、国際間の平和・安全・経済、日本の外交に関する諸問題の調査研究とその援助、研究成果の出版を実施しています。

公益財団法人 渥美国際交流財団
1994年に外国人留学生対象の奨学支援事業と留学生を通じた国際交流事業を目的として設立以来30年を経て、2024年度までに53か国・地域からの382人（2022年度から対象となった日本人学生を含む）に奨学支援を実施しています。また、世界各国で大学教員や研究者として活躍する元奨学生を主体にアジア未来会議をはじめとする国際学術会議やフォーラムなどの国際交流事業を国内外で展開し、国際交流ネットワークの構築を目指しています。

IR活動

「株主との建設的な対話の方針」を定め、積極的な情報開示に努めるとともに、決算説明会や個別面談などを通じ、業績・中長期的な経営方針・ESGなどをテーマとして、建設的な対話の促進を図っています。
対話を通じて把握した株主・投資家の意見等は、定期的かつ適時・適切に取締役会や経営会議に報告し、経営やIR活動の改善に反映しています。
2024年度は、「中期経営計画（2024～2026）」に基づき、当社の成長戦略に関する対話を実施しました。また、海外機関投資家との対話機会の増加や個人投資家向け説明会の実施、開示資料の充実などにも取り組みました。

▶ステークホルダー・エンゲージメントの詳細は下記ページをご参照ください。
https://www.kajima.co.jp/sustainability/stake_holder/engagement/index.html

主なIR活動実績

活動	2023年度実績	2024年度実績	活動状況
機関投資家・証券アナリストとの個別対話	311回	480回	経営企画部を担当する執行役員及びIR部門が中心となり、個別に対話。ESGテーマに特化した対話も含む。
（国内機関投資家）	（124回）	（192回）	
（海外機関投資家）	（152回）	（251回）	
（証券会社）	（35回）	（37回）	
機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会	4回	4回	社長及び事業部門や財務、経営企画部を担当する取締役・執行役員が出席する決算説明会を2回開催（第2四半期末、年度末）。 財務担当取締役及び経営企画部を担当する執行役員が出席する決算説明会を2回開催（第1、第3四半期末）。
機関投資家・証券アナリスト向けスモールミーティング	1回	—	社長及び財務担当取締役、経営企画部を担当する執行役員が出席。2023年度は国内機関投資家7人と対話。
機関投資家・証券アナリスト向け見学会/事業分野別説明会	1回	1回	2024年度は、投資家等の関心が高い最先端半導体生産施設「Rapidus IIM-1」建設工事現場の見学会を開催。経営企画部を担当する執行役員、現場担当者並びにIR部門が出席し、証券アナリスト・機関投資家15人と対話。
機関投資家議決権行使担当者等との個別対話	17回	18回	経営企画部を担当する執行役員の他、関連する取締役、執行役員並びにIR部門が出席し、Shareholder Relations（シェアホルダーリレーションズ）の一環として定期的に対話。
証券会社主催カンファレンス	3回	4回	IR部門が、海外機関投資家向けカンファレンスに参加。
個人投資家向け会社説明会	—	1回	経営企画部を担当する執行役員及びIR部門が、個人投資家向け会社説明会に参加。

イニシアティブへの参画

WE SUPPORT UN GLOBAL COMPACT
TCFD TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES
TNFD Forum Member

社外からの評価

FTSE4Good
FTSE Blossom Japan Index
FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
2025 CONSTITUENT MSCI日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数
2025 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数（WIN）
2025 Sompo Sustainability Index
レジリエンス認証 事業継続および社会貢献 認証・登録番号RD00000012
Supplier Engagement Leader CDP 2024